

## スポーツがもたらす影響—プロモーション活動、地域活性の観点から —

私はプロ野球チーム、プロサッカーチームがどのような取り組みをしているかプロ野球チームは広島東洋カープ、横浜 DeNA ベイスターズの 2 チーム、プロサッカーチームでは湘南ベルマーレ、アスルクラロ沼津の計 4 チームに絞り研究を行った。各チームが取り組んでいるプロモーション活動が地域やファン、サポーターにどのように影響を出しているかを各チームで比較し共通点や相違点を出した。

最終的な目標としては、アスルクラロ沼津が所属している J3 から J2 に昇格するにはどのような活動をすればよいのか J1 リーグに所属している湘南ベルマーレや競技は違うが、毎年黒字経営をしている広島東洋カープや横浜 DeNA ベイスターズの活動内容を参考にすることで活動の指針を見出すことであった。その他にも 2020 年から世界的に流行している新型コロナウイルスの感染拡大に伴いプロ野球や J リーグでも無観客での試合開催や観客を制限されての試合観戦となり、新型コロナウイルス以前と比較すると売り上げが大幅に減少した。私自身も新型コロナウイルスを少なからず受けたこともあり各チームがどのような取り組みをしているのか気になったため、研究の中に取り組んだ。

プロ野球チームとプロサッカーチームを比較することでスポーツによってさまざまな違いがあり野球やサッカーそれぞれが様々な目的を持ち活動をしていることが分かった。特に野球教室の開催やサッカー教室の開催などの子供向けに行われている活動が多く感じた。総務省のデータでは野球やサッカーに関わらず多くのスポーツで人口が減少や横並びの状態が続きスポーツ人口の減少が深刻化していることも分かった。少子化の問題もあるがスポーツをしたことがない人たちの割合も増えているので影響力が強いプロのチームが野球教室やサッカー教室を行うことで多少なりとも開催された地域や子供たちにも影響が出ると感じた。

今回の研究では各チームが取り組んでいるプロモーション活動を図や表を入れながら比較することで問題点を分かりやすく上げたので経営の難しさやコロナ禍での取り組みの変化、スポーツ人口の減少の問題などをこの卒業論文をきっかけに知ってほしい。